

2017 年度

プロジェクト成果公表シンポジウム



学びあいが生み出す農家の未来

東南アジアの換金作物栽培地域における農業の多様化をめざして

日程：2017年12月16日（土）

時間：14時00分～17時00分

場所：東洋大学 白山キャンパス 6号館 6206 教室

入場無料、どなたでも参加できます。



主催：特定非営利活動法人 APLA 共催：東洋大学アジア文化研究所

お問い合わせ：特定非営利活動法人 APLA info@apla.jp tel：03-5273-8160

* 同プロジェクトは、トヨタ財団 2016 年度国際助成プログラムの支援を受けて実施されました。
プロジェクト名：換金作物栽培地域における循環型有機農業の実践に向けた若手農家リーダー育成プロジェクト（D16-N-0157）

NPO 法人 APLA は 2016 年 10 月より 1 年間、東南アジア3カ国の若手農家の交流プロジェクトを行ってきました。換金作物への依存からくるリスクを解消するために、循環型農業の重要性を考え、実践していくことを目的として、同プロジェクトにはフィリピン・ネグロス島、東ティモール・エルメラ県、ラオス・ポーラヴェーン高原の若手農家が数名ずつ選ばれ、3カ国にそれぞれ滞在し、ワークショップを行いました。

本シンポジウムは、トヨタ財団の助成を受けた同プロジェクトの成果を公表すると同時に、国境を越えた小規模農家の交流の意義について考えてみたいと思います。

【プログラム】

- 14:00 開会のあいさつ / 本シンポジウムの趣旨説明
箕曲 在弘 (東洋大学社会学部准教授 / APLA 理事)
- 14:15 3カ国農家の交流プログラム活動報告
フィリピン「カネシゲファームにおける循環型農業を中心に」
寺田 俊 (APLA 事務局)
東ティモール「コーヒー産地における水源保全活動とバーマカルチャー」
野川 未央 (APLA 事務局)
ラオス「コーヒー産地における農業多様化と持続可能な農業」
櫻井 秋那 (APLA 事務局ボランティアスタッフ)
- 15:00 休憩
- 15:15 参加メンバーの変化
寺田 俊 (APLA 事務局)
- 15:30 交流プログラムの意義「換金作物栽培地域における農家の生業変容」
箕曲 在弘 (東洋大学社会学部准教授 / APLA 理事)
- 15:45 3カ国農家の交流プログラムの成果に対するコメント
下田 寛典 (日本国際ボランティアセンター職員)
阿部 健一 (総合地球環境学研究所教授)
橋田 健太 (トヨタ財団プログラムオフィサー)
- 16:15 ディスカッション
- 16:55 閉会のあいさつ

ACCESS

東洋大学 白山キャンパス
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

- 都営地下鉄三田線「白山」駅
A3出口から「正門・南門」徒歩5分
A1出口から「西門」徒歩5分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅
1番出口から「正門・南門」徒歩5分

